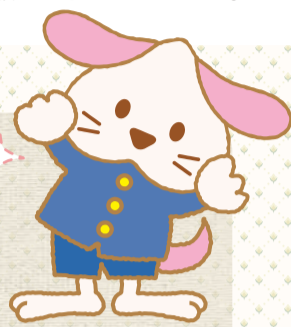


「こらぼ」とは、コラボレーションの略です。家庭、学校園、地域社会、事業者の協働による教育の相乗効果を期待するという願いが込められています。

あなたは大切にしていますか？

家庭教育のススメ

おうちで
話し合ってみるワン！



岡山市教育委員会広報専門官
こらぼん♪



家庭で心がけること
1

あいさつを
しましょう。



家庭で心がけること
2

家庭の中で役割を
持つようにしましょう。



家庭で心がけること
3

家族で
地域行事や体験活動に
参加しましょう。



あいさつで大切なこと

チェック！

- ほんの短い時間でも立ち止まってほほえみながらあいさつできていますか？

こころに気を配っている大人の姿が、こころのこもったあいさつのできる子どもを育みます。

チェック！

- 大人の側からあいさつをしていますか？

青年期になるとあいさつが気恥ずかしくなります。あきらめずに声をかけ続けましょう。「ずっと見守っているよ」という姿勢を大切に。

役割を持たせる上で大切なこと

チェック！

- 「ねえ！見て！」という言葉に向き合っていますか？

お手伝いでがんばっていることをその目で見てあげる。話していることを真剣に聴く。それだけで子どもは、自分の存在が大切にされていると感じます。

チェック！

- 結果ではなく、がんばりを認めていますか？

上手くできたかという結果ではなく、本当に必要なのは「がんばってくれてありがとう」など、その子の努力や存在を認める一言です。

参加する上で大切なこと

チェック！

- 家族みんなで地域行事に参加できていますか？

特に、保護者が積極的に参加しようとすることで、地域とのつながりの大切さを実感を持って学べます。

チェック！

- 「時間がない」とあきらめていませんか？

夕焼けを見たり、生き物を飼ったりするなど、身近な暮らしの中でできる自然体験を親子で行うことも大きな成長の機会になります。

家庭で育みたいもの

中面では家庭教育を支える取組を紹介するワン！



自分の思いを伝えたり、相手の思いを理解する力。主張するだけでなく、相手を受け止め、協力できるようになります。

コミュニケーション

人と仲良くできる

「自分は大切な存在だ」と思える感覚。よい生活習慣や、困難にくじけない心、責任の基盤を作ります。

自己肯定感

自分に自信を持つ

その力こそ、子どもたちが将来、社会の中で自分らしく生き生きと活躍するために、大切な力になります。家庭の中でできる事から心がけてみませんか。

「コミュニケーション力」を育むことができます。

家庭教育といっても、時間がなく子どもと十分にコミュニケーションをとれなかったり、どうすればよいか分からなくて迷ったりしていませんか。あれもこれもと悩まず、まずは「あいさつをする」「家庭の中で役割を持つようにする」「家族で地域行事や体験活動に参加する」という3つのポイントから取り組んでみましょう。簡単なことですが、意識して続けることでしっかりと「自己肯定感」や「コミュニケーション力」を育むことができます。

家庭でどんなことを心がけていますか？

こんなことあんなこと 家庭教育を支援しています

いろんなサポートがあるワーン!



「家庭教育は保護者が行うこと」と言われても…実際、何をどうやったらいいのかわからないという方が少なくないのではないのでしょうか? でも、子育てに見通しが持てるようになったり、不安が軽くなったりするような「支援」や「取組」がたくさんあります。学校園・地域社会・事業者などの活動の様子を紹介します。

手引きをつくって 家庭教育を支援

子どもの将来のために自立を促す家庭教育。中山中学校区では、そのサポートをするため、地域や学校園が連携して「ももたろう子育て応援」を作成しました。(何が大切か)子どもにどう向き合うのか)といった項目を発達段階に応じた項目を掲載しています。また、保育園、認定こども園、幼稚園、小学校と中学校で「笑顔であいさつ、進んで学び、みんなのために働く子」という目指す子どもの姿を共有し、子育ての方向性を示しました。

さらに、子どもの未来を応援する「夢づくりノート」の取組をしています。共有することで、夢の実現方法や将来について考えるというものが、得意な分野や夢のある子どもはとも輝いて見えます。その輝きを増やせば、自信が持て、自己実現の力にもなるでしょう。

子どもが大きくなるにつれて家庭でのコミュニケーションが減り、家庭教育が難しくなることもあるかもしれません。そういう時にこそ、「ももたろう子育て応援」を参考にしたいと思っています。私たち地域の住民や学校は、これからも家庭での教育を支えていきたいと思っています。

中山中学校 濱本 琢也校長



中山中学校区 地域協働学校連絡会会長 熊代 建治さん



子ども会活動を通して 広がる地域の輪

小学生を中心に、地域の子どもたちが集まって活動する「子ども会」。活動内容は、地域によって様々です。例えば、新入生歓迎会や清掃活動、夏休みのキャンプ体験、クリスマス会、お別れ会など、町内の夏祭りや

ジュニアリーダーが中心となって キャンプを運営



テント設営



水遊び

秋祭りにも参加し、住民との交流を深めています。子ども会には、幅広い年齢の子どもが参加するので、友達もたくさんでき、つながることの良さが学べます。また、子どもたちがやってみたいこと、好きなことを話し合い、自分たちで考えて活動するので、主体性やリーダー性が養われます。子ども会には、人として成長できる大切な場です。そういった中で育った子どもは、家庭でもたくましくなった姿を見せてくれることでしょう。

私は、子どもたちの笑顔がもっと増えて欲しいと思っています。そのためには、町内会や地域住民と協力し、子ども会をしっかりサポートをしていきます。地域の子どもは地域で育てるもの。子どもの健やかな成長を地域全体で願っています。

岡山市子ども会 育成連絡協議会会長 久世 英一さん



公民館には子育てに役立つ 情報が盛りだくさん

公民館では、講座やイベントに参加するだけでなく、子育てや家庭教育に役立ついろいろな情報を得ることが出来ます。子育てで真つたたの世代をはじめ、経験豊かなお年寄りの方まで、幅広い年代の方が利用している

ので、知り合いになることで、ちょっとした時間を見つけて、子育ての悩みを相談したり意見を聴いたりすることが出来ます。人と人をつなぐ公民館を活用し、肩肘張らずに子育てを楽しんでください。

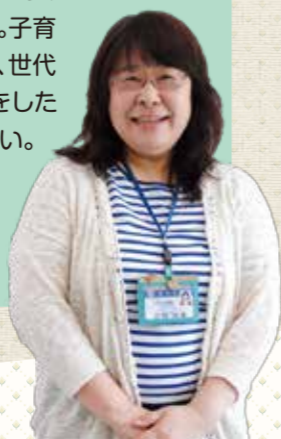
お話し会や幼児教育の講座もあり、親子で楽しんでいます。地域の役立つ情報も揃っているので公民館はよく利用しています。



講座

子育ては親も子も一緒に成長していくものです。「完璧にやろう!」と気負うことはありません。子育ての悩みや知恵を分かち合う場をつくらせたり、世代間の子育て観の隔たりを解消するお手伝いをしたりしていきたいので、遠慮なく相談してください。

岡山市立上道公民館 吉田 郁美 主任



あなたの側にもある 地域の子育て相談窓口

皆さんが暮らす地域には、子育て支援ボランティアの民生委員・児童委員がいます。民生委員・児童委員の中で、特に子

自分だけで考えていると、気持ちが深く沈んでしまうこともありますよね。でも、あなたの周りには相談できる人がたくさんいます。話すだけでも気持ちが軽くなることもあるので、一人で抱え込まず、誰かを頼って欲しいと思います。



岡山市民生委員 児童委員協議会 主任児童委員部長 長壽 和子さん

知っていますか? 「家庭教育支援アドバイザー」

岡山市では、PTAや企業などが開催する家庭教育に関する講演会や研修会、ワークショップに「家庭教育支援アドバイザー」を派遣しています。核家族化や地域のつながりの希薄化に伴い、子育てに関する悩みを相談できる相手がないという人が増えています。そのような中で、経験を通じたアドバイスで不安や悩み事を話し合い、共感したり、異なる価値観にふれたりすることで問題解決へのヒントを得ることが出来る機会として好評です。

派遣を希望する団体は、岡山市生涯学習課までお気軽にご相談ください。

家庭教育支援 アドバイザー 赤迫 康代さん



(NPO法人 子ども達の環境を考える ひろこせん代表理事)

ワークショップ



子育てについての話題で盛り上がる参加者たち

こらぼんの ちょっとコラム

家庭教育は支えられる だけではありません!

岡山市には、支援団体や相談窓口、イベントなどがたくさんあります。それらのサポートを受けるだけでなく、サポーターになることも出来ます。立場が変わることで、自分の子育てについてあらためて気づくことがあったり、誰かの助けになったりすることもあるはず。人とのつながりが深まり、きつやりがいを感ぜられるはずなんです。身近な団体に参加してみたいはかがですか?

つながりが生まれるワーン!



人と人が集まる場所で 広がる子育てのつながり

岡山市では、家庭教育に役立つ情報を発信したり、子どもの遊びを提供したりする事業として、「子育てだておうえんハッピータイム」を開催しています。会場には子ども会や市の相談機関のほか、家庭教育を支援している団体や企業などがブースを出展して下さっています。

同イベントは子どもが楽しむだけでなく、保護者と子育てを応援している各団体を互いにつなぐ大切な役割も果たしています。今後も、家庭教育に役立つイベントを開催していく予定です。ぜひ、子どもと一緒に参加して楽しんでください。そして、楽しみながら子育てをしていきましょう。



木のプール

体験型の企業ブースで楽しむ子どもたち



パネル展示

各団体によるブース出展



岡山市立図書館が100周年を迎えます。

大正5年(1916年)に施工され、今年で設立100周年を迎える岡山市立図書館は、永きに渡り市民に愛されてきました。戦争で7,000冊の蔵書や建物を焼失しましたが、何度も移転を繰り返しながら、市民の身近な図書館として、いろいろなサービスを拡大してきました。

現在では、岡山県下最大級とも言われる約150万冊の本が所蔵されているので、読みたい本がいっぱいあるはず。

本の予約や貸し出し状況の確認も自宅のパソコンからできて便利です。100周年を記念して、様々な記念行事も開催中です。

本の貸出はもちろん、育児中の保護者に嬉しい「読み聞かせ」も行っています。紙芝居や絵本を通して、様々な世界を子どもたちが体験できます。読み聞かせを通して、ぜひ、親子の時間を楽しんでください。

楽しい行事が盛りだくさん! 参加してみませんか?

赤ちゃん絵本読み聞かせ体験

(対象:1歳くらいまでの赤ちゃんとその保護者/自由参加)

絵本の読み聞かせを親子で体験することができます。

中央図書館: 毎月第2水曜日
11月の第5日曜日
幸町図書館: 毎月第4木曜日

瀬戸町図書館: 偶数月第3金曜日
灘崎図書館: 7月・11月・12月の第3日曜日

おやおたのしみ会 (対象:1歳~3歳とその保護者/定員15組。要申込)

手遊び、絵本の読み聞かせ、工作など、楽しく遊べます。

中央図書館: 毎月第4金曜日(4月・8月を除く)
幸町図書館: 毎月第2金曜日(4月・8月を除く)

詳しい行事などの情報は図書館のホームページをご覧ください。

岡山市立図書館

検索

図書館の歴史をひも解く

昭和24年~36年

増改築工事完工・開館。工事費は当時のお金で180,000円。蔵書12,000冊。当時は半年30円・1年50円の貸出料が必要でした。

昭和39年~

戦災で焼失後初めて図書館を新築しました。



設立当初の図書館



石山地区へ移転



自動車文庫の車両(写真は昭和49年頃)



現在の幸町図書館の場所へ移転



現在の岡山市立中央図書館

大正5年9月18日

山本唯三郎氏から「図書館建築の費用を市に寄付したい」と申し出があり、岡山市の図書館はスタートしました。

昭和29年~

自動車文庫「あおぞら号」で、図書館以外の場所でも本を貸し借りできるようになりました。

昭和58年~

現在の二日市町に当時、規模としては中四国随一の岡山市立中央図書館が完成。

スマホ&ゲーム機の使用ルールを提案!

~自分たちで考えるスマホ&ゲーム機との付き合い方~

携帯電話やスマートフォンが普及し、子どもたちも手にする機会が多くなりました。情報ツールとして便利な一方で、夜遅くまで使いすぎて子どもたちの生活に支障をきたしたり、SNS上でトラブルに発展するケースが出てきたりしています。

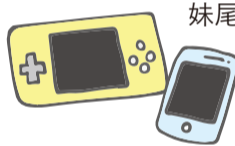
平成27年度には岡山市内全ての小中学校で、スマートフォンやゲーム機を使

う際のルールやマナーについて、子どもたち自身が主体的に考えるという取組を行いました。子どもたちが考えた意見をもとに保護者や地域の方からも意見をいただき最終的に自分たちの『提案書』としてまとめ、家庭に配付しました。

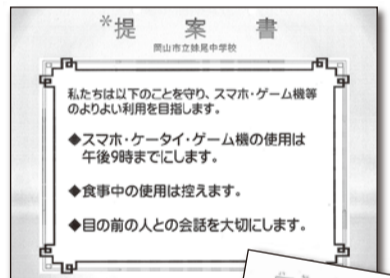
自分たちでルールやマナーを考えることで、ネット利用に対する意識が高くなり、家庭でも『提案書』をもとに話し

合う良い機会となったのではないのでしょうか。今年度も各学校では引き続き子どもたちのメディアとの上手な付き合い方についての取組を進めています。また、中学校では、夏休みに開催される生徒会の集いの中で、話題の一つとして意見交換も行います。

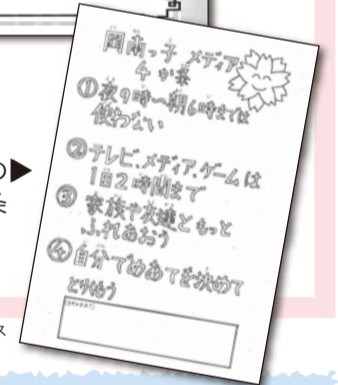
子どもたちの主体的な頑張りへの応援と協力を引き続きお願いします。



妹尾中学校の提案書



岡南小学校のメディア4か条



※Social Networking Service のこと。インターネット上の交流を通して社会的ネットワークを構築するサービス

こらぼ

ご意見・ご感想をお聞かせください!

教育広報紙「こらぼ」へのご意見・ご感想をお寄せいただいた方の中から、抽選で図書カード1,000円分を5名の方にプレゼントします。

図書カード

こらぼVOL.6 に寄せられたご意見・ご感想

前回のテーマ

すこやかな体づくりで、生きる力を育む

食べること、体を動かすこと、この基本的なことが、子どもたちにとって大切なことであることを再確認できました。ゲームを手に入れたから、親が公園などに誘ってもよい返事がもらえず困っていました。もう少しいろいろ考えて魅力的な誘いで連れ出したいものだと思います。

芥子山小学校の15分程度の体育の宿題、室内でもできるストレッチなども可で、いい宿題だと思いました。内容を選んで、結果をお友達と比較せず、自分の向上のためにするのが、楽しいと思います。

体育が苦手で、運動を敬遠していましたが、2年前から約30分、朝に旭川をジョギングし、体を動かす楽しさを今、実感しています。

親子でストレッチや散歩等簡単な運動をすると子どももやる気が出て継続していけるのかなと感じました。あまり子どもと一緒に運動することはなかったので、これから挑戦してみようと思います。

今回のこらぼを読み、私達の頃とは時代が違うなあ~と改めて実感しました。特に6人に1人が朝食をとっていないことに驚きました。外遊び等で知らず知らずのうちに体がたくらわれていた頃は違い、意図的にかつ楽しく無理なく体力をつけさせていくことを学校も指導していることを知りました。子どもたちも楽しみながら体力UP、食に興味を持ってほしいと思いました。



たくさんのご意見・ご感想をありがとうございます!

応募方法

郵便番号、住所、氏名、年齢(または学年)を明記の上、下記のあて先へご応募ください。
はがき・封書 〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 岡山市教育委員会事務局 教育企画総務課 行
F A X 086-234-4141 Eメール korabo@city.okayama.jp



応募締切

平成28年 8月31日水
当日消印有効

※お寄せいただいた個人情報は、業務目的以外には使用しません。当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

